



高校生が情報技術を活用したものづくりを学んだキャンプ＝大垣市今宿で

育てーITの職人

情報技術（IT）を活用したものづくりを高校生が体験学習する「IT×モノづくりキャンプ」が二十五日、大垣市今宿のドリーム・コアで始まった。

将来の人材育成へ県などが主催。岐阜、大垣の両工業高校から生徒十八人が参加した。

生徒たちは、コンピューター利用設計システム（CAD）の基本操作を学び、ゴルフクラブなどの立体物のデータを図面

から作成。用意されたパソコンで組み立てた。

キャンプは二十六日もあり、三次元プリンターを実際に動かしてのデザインの成型や、知的財産をテーマにした講義に臨む。

大垣 高校生がものづくり体験

大垣工情報技術科一年の菅井琴水さんは「ゲームのキャラクターを作ってみたい」、岐阜工機械科三年の伊藤暢恭君は「将来的にプラモデルの設計ができれば良い」と意欲を語った。（山本克也）